

## 軟式庭球部

委員長 飯 島 隆

45年度も県下各校顧問の先生方、役員のお協力を得て無事、年間スケジュールを消化することができました。感謝致します。

今年は新しい委員に水戸地区より藤咲(水二) 県東地区助川(玉造)、和田(銚一)、県西地区須藤(結一)、県北地区秋山(日一)、椎名(多賀) 県南地区雨宮(石二)の先生方が入って委員構成に新風を吹き込み、新たな意気込みで出発した。

委員会は部則の一部改正を認めると共に昨年度問題となった組合せの不手際を反省し、組合せについては各地区の代表委員が全責任をもって組み入れること。受付・開会式には各委員は必ず立ち合って、問題発生の際に責任をもって納得のゆく説明を行ない、試合開始の運行の円滑をはかることを確認した。つまり大会運営の公正化に努力目標をおいたつもりである。

批判のあった県営コートも全面改修され、8月県民総体から使用可能となり、悩みの一点は解決された。反面、春季大会は男女341組、新人戦は686組を数え、年々増加の一途をたどっており、参加チームの制限をするかコートの増設を実現をしなくては大会の運営は極めて困難になってきた。

さて、今年度の各種大会に活躍された学校・選手を眺めてみると、男子では関東大会県予選に下妻一が優勝、日立一が2位となった。全日本県予選は日立一が優勝して県代表となったが、本大会は2回戦で止り、成績は振わなかった。これに対して女子は年々レベルを高めている。関東県予選では土浦二が優勝、銚田二が2位であったが、銚田二は本大会で見事、優勝を成し遂げた。43年個人戦で同校の先輩田口・広瀬組の優勝に次ぐ二度目の快事であり、銚田二の功績は大きいものがある。全日本県予選は銚田二絶対優勢と見られていたが結城二が逆転勝を果し、銚田二の全国への夢を打ち破った。結城二は9年振りの返り咲きである。

なお、個人戦に活躍した選手をみると、男子で、皆川・畠山(日工)がある。皆川・畠山は昨年度新人戦、インドア、本年度春季、関東、全日、国体の各県大会に連続優勝を成し遂げた抜群の選手である。6連勝は新記録と思われる。直井・船橋(古一)も平均した強みを発揮、古河一の主戦力となって活躍した。野口・又輪(水農)、松ヶ崎・大曾根(磯原)は研究熱心が実を結び、国体関東予選へ出場して気をはいた。中部・湧水(太子)らの進出は

札・山口(銚一)らと共に新鋭として注目され、来年が楽しみである。野沢・広沢(妻一)は関東大会で実力を発揮、本県選手としては最高の活躍で準々決勝に出た。その他、宇賀神・引田(日一)、大高・大沢(水一)、高橋・百目鬼(館一)らも健闘したが、後半に至り全日・国体予選等では顔も見られないチームもあり尻つぼみの感があった。

女子は昨年新人戦に於て1年生ながら優勝して斯界の注目を集めた杉本・柳沢(銚二)が順調に成長し、春季をはじめ全日、国体の各県予選で優勝し関東大会4回戦、インターハイ5回戦に進んで、46年度は推薦組になった。まさに本県のホープである。石崎・佐藤(銚二)も先輩格として強みをみせ、関東、全日の県予選に優勝、本県の双壁となって活躍した。これに追従し肉迫したのが真藤・神林(土二)、矢口・横田(土二)、小口・近川(結二)らであった。共に実力互角で妙味ある激戦を展開した。しかし県外大会では意外と振わず、関東大会で真藤・神林(土二)の準々決勝が光ったのみで、杉本・柳沢の外、岩瀬岡本(土二)が3回戦に終り、予想が裏目に出てしまった。その他、倉井・瑞野(竜二)、渡辺・住谷(日商)など立派な選手がいたが結果的には不発に終わってしまった感じがする。だが、上記、真藤組、杉本組の他、荒木・渡辺(結二)、千田・大越(日二)、田中・宮崎(館二)らの2年生チームも全国大会の経験をもち次第に実力伸張をみせているので、来年度も相当の活躍を期待してよいと思う。

第25回岩手国体は女子が出場、大活躍をした。「なせばなる」の自信も湧いてきたのでこれからは茨城国体に備えて万全の選手強化計画を樹立し真剣に対策を考える必要がある。各校におかれても中学から優秀選手を集め効果的な指導によって「強い茨城の軟式テニス」

へ発展せしめるよう御協力を切にお願いする次第です。

### 県高校軟式庭球春季選手権大会

4月25-26日 県営、市営コート

[男子の部]

#### 3回戦

皆川	山(日工)	4-0	中根	賀田(玉工)
勢給	司(銚一)	4-	中清	郡水(大子)
直船	井橋(古一)	4-1	蛭小	田寺(短附)
柴石	田川(茨キ)	4-2	古下	屋妻(緑岡)
熊直	坂井(日一)	4-2	吉高	井安(笠間)
高百	橋鬼(館一)	4-2	小根	柴岸(緑岡)
岩中	瀬島(妻一)	4-3	札山	山口(銚一)
志向	筑後(波崎)	4-2	大高	高沢(水一)
宇賀	神田(日一)	4-1	秋野	田沢(館一)
野箕	口輪(水農)	4-1	上阿	野部(館工)
吉飯	田島(海一)	4-2	山北	崎村(日工)
山田	本口(霞浦)	4-3	山芳	本賀(水城)
丹根	羽本(日一)	4-1	片針	塩谷(古三)
野広	沢(妻一)	4-2	橋村	本田(多賀)
窪鶴	木田(太田一)	4-2	土山	子田(銚一)
大羽	熊石(古一)	4-2	鈴石	木井(大子)

#### 4回戦

皆川	山(日工)	4-0	勢給	司(銚一)
直船	井橋(古一)	4-0	柴石	田川(茨キ)
高百	橋鬼(館一)	4-2	熊直	坂井(日一)
岩中	瀬島(妻一)	4-2	志向	筑後(波崎)

# 45年度 県春季大会

宇賀神 (日 一) 4-3 野口 (水 農)  
 引田 (霞 浦) 4-2 箕輪 (海 一)  
 山本 (妻 一) 4-3 吉飯 田島 (日 一)  
 野広 沢木 (太田一) 4-2 丹根 羽本 (古 一)

## 準々決勝

皆川 (日 工) 4-3 直船 井橋 (古 一)  
 高橋 (館 一) 4-2 岩中 瀬島 (妻 一)  
 山本 (霞 浦) 4-3 宇賀神 引田 (日 一)  
 窪木 (太田一) 4-0 野広 沢木 (妻 一)

## 準決勝

皆川 (日 工) 4- 高橋 (館 一)  
 窪木 (太田一) 4-3 山本 (霞 浦)

## 決勝

皆川 (日 工) 4-1 窪木 (太田一)

## 女子の部

### 3回戦

杉本 (鉢 二) 4-0 杵久保 (岩 瀬)  
 山里 (石 二) 4-0 宮落 本合 (境)  
 田中 (館 二) 4-3 飯松 田島 (竜 二)  
 竹内 (日 二) 4-1 板藤 倉倉 (土 二)  
 野市 (妻 二) 4-3 大上 内田 (水 商)  
 矢口 (土 二) 4-1 田渡 中辺 (高 萩)  
 岩瀬 (土二) 4-1 小大 更竹 (竜 二)  
 小近 (結 二) 4-0 久保田 (鉢 一)  
 倉野 (竜 二) 4-0 栗土 山屋 (土一女)  
 高岡 (土 二) 4-1 海老原 代々 (鉢 二)  
 岩瀬 (土 二) 4-1 鈴木 (磯 原)

牧野 (結 二) 4-0 石芝 崎崎 (鉢 二)  
 松江 本原 (結 二) 4-0 鈴横 木田 (石 二)  
 千大 田越 (日 二) 4-3 磯谷 山田 (麻 生)  
 今高 井田 (水 三) 4-2 島安 田達 (結 二)  
 真藤 (土 二) 4-1 池松 田山 (鉢 一)

## 4田戦

杉本 (鉢 二) 4-0 山矢 里口 (石 二)  
 田中 (館 二) 4-3 竹小 内野 (日 二)  
 矢口 (土 二) 4-0 野市 口村 (妻 二)  
 小近 (結 二) 4-0 岩岡 瀬本 (土 二)  
 倉井 (竜 二) 4-2 高桜 岡井 (土 二)  
 牧野 (結 二) 4-0 岩塚 瀬本 (土 二)  
 千大 田越 (日 二) 4-0 松江 本原 (結 二)  
 真藤 (土 二) 4-3 今高 井田 (水 三)

## 準々決勝

杉本 (鉢 二) 4-1 田中 (館 二)  
 矢口 (土 二) 4-1 小近 (結 二)  
 倉野 (竜 二) 4-3 牧野 (結 二)  
 真藤 (土 二) 4-0 千大 田越 (日 二)

## 準決勝

杉本 (鉢 二) 4-2 矢口 (土 二)  
 倉野 (竜 一) 4-3 真藤 (土 二)

## 決勝

杉本 (鉢 二) 4-2 倉野 (竜 二)

〔戦評〕 男子 163組、女子 173組が参加。

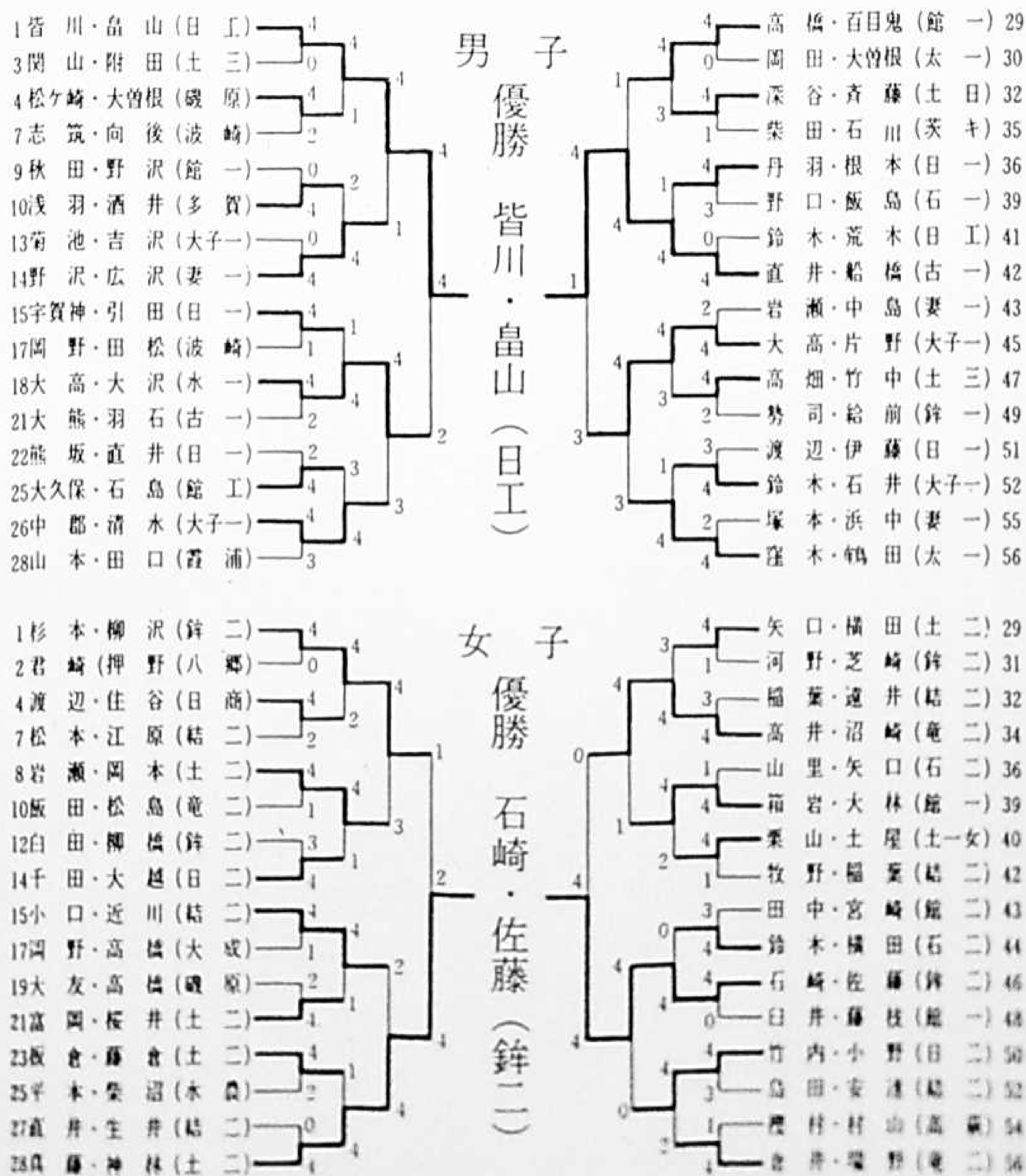
男子は皆川・島山(日工)が圧倒的な強みで、

中シードより出た窪木・稲田(太一)を4-

1で一蹴楽勝した。高橋・百目鬼(館一)の進出は予想通りだが山本・田口(霞浦)は注目になる。女子は杉本・柳沢(銚二)が倉井・瑞野(竜二)を押し切って勝利を占めた。

真藤・神林(土二)は倉井・瑞野に4-3で苦敗。チームワークのまがさが現われていた。県南・県西勢の活躍が目につく。

## 昭和45年度関東高校軟式庭球選手権県予選 個人戦 5月17日 於県営コート



〔戦評〕 個人戦。男子は皆川・高山が決勝で直井・船橋（古一）を破り春季大会に引続き優勝した。大高・大沢（水一）、大高・片野（大子）らの進出が注目される。女子は石崎・佐藤（鉾二）が春季大会に欠場したため、組合せ上シードの位置をめくり委員会は激論だった。それは優勝候補の筆頭であるためだ。結局、16本シードで実績の少ない未対戦チームのところに入れることになった。結果は予想通り、真藤・神林を4-2で破って優勝。岩瀬・岡本（土二）は良く頑張ったが高井・沼崎（竜二）はもう少し気迫が欲しい。杉本組は真藤組の豪球に押されて敗れた。牧野・稲葉（結二）田中・宮崎（館二）の敗北は残念。

関東軟式庭球選手権大会（団体戦）

45年5月16日 県営コート

△男子予選リーグA

古 一 2-1 波 崎	土日大 2-1 波 崎
大 子 2-1 土日大	古 一 2-1 日 一
大 子 3-0 波 崎	日 一 2-1 土日大
古 一 2-1 土日大	日 一 2-1 波 崎
大 子 2-1 古 一	日 一 3-0 大 子

△男子予選リーグB

水 城 2-1 竜 一	鉾 一 2-1 多 賀
妻 一 2-1 竜 一	水 城 2-1 多 賀
妻 一 2-1 鉾 一	多 賀 3-0 竜 一
鉾 一 2-1 水 城	多 賀 2-1 妻 一
鉾 一 2-1 竜 一	妻 一 2-1 水 城

△男子決勝リーグ

日 一 3-0 大 子	妻 一 2-1 鉾 一
妻 一 2-1 大 子	日 一 3-0 鉾 一
妻 一 2-1 日 一	大 子 一 鉾 一

△女子予選リーグA

竜 二 2-1 水 農	結 二 3-0 日 二
鉾 二 3-0 水 農	竜 二 3-0 日 二

日 二 2-1 水 農	鉾 二 2-1 結 二
鉾 二 3-0 竜 二	結 二 2-1 水 農
鉾 二 2-1 日 二	結 二 2-1 竜 二

△女子予選リーグB

土 二 2-1 高 萩	館 一 2-1 麻 生
土 二 3-0 館 一	高 萩 2-1 大 二
麻 生 2-1 高 萩	土 二 3-0 麻 生
館 一 2-1 大 二	土 二 3-0 大 二
館 一 3-0 高 萩	麻 生 2-1 大 二

△女子決勝リーグ

鉾 二 2-1 結 二	土 二 3-0 館 一
土 二 3-0 結 二	鉾 二 3-0 館 一
土 二 2-1 鉾 二	結 二 3-0 館 一

△順位

- 1位 下妻一高 3勝
- 2位 日立一高 2勝1敗
- 3位 大子一高
- 3位 鉾田一高

- 1位 土浦二高 3勝
- 2位 鉾田二高 2勝1敗
- 3位 結城二高 1勝2敗
- 4位 下館一高 4敗

関東大会団体戦出場者

男子A 下妻一高

監督 黒田威博

選手	野 沢 大 作	(岩 瀬 文 夫)
	(広 沢 浩)	中 島 敏 之
	塚 本 賢 二	(初 沢 正 晴)
	(浜 中 勝 美)	中 山 次 朗

男子B 日立一高

監督 秋 山 和 衛

選手	宇 賀 神 彦 典	(丹 羽 隆 二)
	(引 田 道 夫)	根 本 儀 乃 夫
	熊 坂 政 弘	(渡 辺 孝 眞)
	(直 井 幸 也)	伊 藤 孝 眞

女子A 土浦二高





〔戦評〕 男子、皆川・富山（日工）と直井・船橋（古一）が優勝争いの焦点となったが皆川組が順当に勝った。ノーシードから出た野口・箕輪（水農）、札・山口（銚一）らはよく頑張った。女子、石崎・佐藤（銚二）が杉本・柳沢（銚二）と同士打ちとなり4-2で押え、先輩の風格を示した。代表選手は8なので、かなり激しい予選である。代表の色分けをみると、男子は1校1組ずつ分れているが、女子は土浦二が3組、銚田二が2組、結城二が2組、下館二が1組で4校の寡占的傾向にあるのが特徴である。インターハイでの活躍を期待する。

全日本軟式庭球選手権県予選（団体戦）

45年6月21日

土浦市営コート 石岡二高コート

△男子予選リーグA

水 農 2-1 土 三	水 農 2-1 銚 一
妻 一 2-1 水 農	日 土 3-0 水 農
銚 一 2-1 土 三	土 三 2-1 妻 一
日 工 2-1 土 三	銚 一 2-1 妻 一
日 工 2-1 銚 一	日 工 2-1 妻 一

△男子予選リーグB

日 大 3-0 鹿 島	日 一 3-0 鹿 島
館 工 3-0 鹿 島	水 一 3-0 鹿 島
日 一 2-1 日 大	館 工 2-1 日 大
日 大 2-1 水 一	日 一 3-0 館 工
日 一 2-1 水 一	館 工 2-1 水 一

△男子決勝リーグ

日 一 2-1 銚 一	銚 一 2-1 館 工
日 工 2-1 銚 一	日 一 3-0 館 工
日 一 2-1 日 工	館 工 2-1 日 工

△順位

1位 日立一高 3勝0敗  
 2位 日立工業 1勝2敗  
 3位 銚田一高 1勝2敗

4位 下館一高 1勝2敗

△女子予選リーグA

土 二 2-1 麻 生	太 二 3-0 麻 生
結 二 3-0 麻 生	麻 生 3-0 水 農
土 二 2-1 太 二	結 二 2-1 土 二
土 二 3-0 水 農	結 二 3-0 太 二
太 二 2-1 水 農	結 二 2-1 水 農

△女子予選リーグB

日 二 3-0 大 二	銚 二 3-0 日 二
日 二 2-1 竜 二	日 二 3-0 妻 二
銚 二 3-0 大 二	竜 二 2-1 銚 二
妻 二 2-1 大 二	竜 二 3-0 大 二
竜 二 3-0 妻 二	銚 二 2-1 妻 二

△女子決勝リーグ

結 二 3-0 竜 二	結 二 2-1 銚 二
結 二 2-1 土 二	竜 二 2-1 銚 二
竜 二 3-0 土 二	銚 二 3-0 土 二

△順位

1位 結城二高 3勝0敗  
 2位 竜ヶ崎二高 2勝1敗  
 3位 銚田二高 1勝2敗  
 4位 土浦二高 0勝3敗

全日本大会団体戦出場者

男子 日立一高

監督 秋山和衛

選手 (宇賀神 孝典 (丹羽 隆三  
 (引田 道夫 (小林 芳雄  
 (熊坂 政弘 (渡辺 誠  
 (直井 幸也 (伊藤 孝直

女子 結城二高

監督 古沢滋

選手 (小口 克子 (牧野 巨子  
 (近川 則子 (福業 初江  
 (島田 良子 (福業 正子  
 (安達 政子 (遠井 しず子

〔戦評〕 男子は関東予選1位の下妻が不調

のため日立一が決勝リーグで有利に展開、代表権を得た。女子は乱戦模様。予選リーグで竜二が鉾二を倒した。これがたたり鉾二は結二に敗れ全国への脈を絶たれた。土二と結二

は文字通り激突、土二優勢でマッチを握ったが結二が逆転勝を果し9年ぶりの全国出場となった。

### 国 体 県 予 選

#### ○男子第一次予選リーグ上位成績(各ブロック上位2位まで)

A	①皆川・高山(日工)	3勝1敗	②丹羽・根本(日一)	3勝1敗
B	①直井・船橋(古一)	3勝1敗	②高畑・竹中(土三)	3勝1敗
C	①中郡・清水(日一)	3勝0敗	②熊坂・直井(日一)	2勝1敗
D	①松ヶ崎・大曾根(磯原)	2勝1敗	②佐藤・佐々木(日工)	2勝1敗
E	①大熊・羽石(日一)	3勝1敗	②高橋・百目鬼(館一)	3勝1敗
F	①野口・箕輪(水農)	5勝0敗	②鈴木・菊池(太子一)	3勝2敗

#### ○男子第二次予選リーグ上位成績(各ブロック上位2位まで)

A	①皆川・高山(日工)	3勝0敗	②松ヶ崎・大曾根(磯原)	2勝1敗
B	①中郡・清水(太子一)	3勝0敗	②直井・船橋(古一)	2勝1敗
C	①野口・箕輪(水農)	3勝0敗	②熊坂・直井(日一)	2勝1敗

#### ○男子第三次予選リーグ成績

①皆川・高山(日工)	4勝1敗
②直井・船橋(古一)	4勝1敗
③野口・箕輪(水農)	3勝2敗
④松ヶ崎・大曾根(磯原)	3勝2敗
⑤中郡・清水(太子一)	1勝4敗
⑥熊坂・直井(日一)	0勝5敗

#### 男子第四次予選リーグ成績

①皆川・高山(日工)	5勝0敗
②松ヶ崎・大曾根(磯原)	4勝1敗
③野口・箕輪(水農)	3勝2敗
④直井・船橋(古一)	2勝3敗
⑤熊坂・直井(日一)	1勝4敗
⑥中郡・清水(太子一)	0勝5敗

#### ○男子 総合成績及び順位

①皆川・高山(日工)	9勝1敗	④直井・船橋(古一)	6勝4敗
②松ヶ崎・大曾根(磯原)	7勝3敗	⑤中郡・清水(太子一)	1勝9敗
③野口・箕輪(水農)	6勝4敗	⑥熊坂・直井(日一)	1勝9敗

#### 女子第一次予選リーグ上位成績(各ブロック上位2位まで)

A	①杉本・柳沢(鉾二)	4勝0敗	②飯田・松島(竜二)	3勝1敗
B	①真藤・神林(土二)	4勝0敗	②高井・沼崎(竜二)	3勝1敗
C	①石崎・佐藤(鉾二)	3勝1敗	②荒木・渡辺(結二)	3勝1敗
D	①田中・宮崎(館二)	3勝1敗	②岩瀬・岡本(土二)	3勝1敗
E	①小口・近川(結二)	4勝0敗	②倉井・瑞野(竜二)	3勝1敗
F	①千田・大越(日二)	3勝1敗	②矢口・横田(土二)	3勝1敗

#### 女子第二次予選リーグ上位成績(各ブロック上位2位まで)

A	①杉本・柳沢(鉾二)	3勝0敗	②倉井・瑞野(竜二)	2勝1敗
---	------------	------	------------	------



B ①小口・近川(結二) 3勝0敗 ②千田・大越(日二) 2勝1敗

C ①石崎・佐藤(銚二) 3勝0敗 ②矢口・横田(土二) 2勝1敗

女子第三次予選リーグ成績

①杉本・柳沢(銚二) 5勝0敗 ②石崎・佐藤(銚二) 4勝1敗

③小口・近川(結二) 2勝3敗 ④矢口・横田(土二) 2勝3敗

⑤倉井・瑞野(竜二) 1勝4敗 ⑥千田・大越(日二) 1勝4敗

女子第四次予選リーグ成績

①小口・近川(結二) 4勝1敗 ②石崎・佐藤(銚二) 3勝2敗

③杉本・柳沢(銚二) 3勝2敗 ④矢口・横田(土二) 2勝3敗

⑤千田・大越(日二) 2勝3敗 ⑥倉井・瑞野(竜二) 1勝4敗

○女子 総合成績及び順位

①杉本・柳沢(銚二) 8勝2敗 ②石崎・佐藤(銚二) 7勝3敗

③小口・近川(結二) 6勝4敗 ④矢口・横田(土二) 4勝6敗

⑤千田・大越(日二) 3勝7敗 ⑥倉井・瑞野(竜二) 2勝8敗

【戦評】 最終決定まで3日間に亘り、4次に及ぶリーグを行ない、しかも決勝リーグは日を改めて一週間後に実施する選出方法は極めてきびしいが県代表として恥しくない優秀選手を選出するための厳正なしくみである。結果的には真剣にやる気のある実力者が、国体代表となれたと思う。

県民総合体育大会 (軟式庭球)

45年8月21~22日

県営コート 水戸市営コート

[男子の部]

1回戦

瀬米(棄権勝)科技	境(棄権勝)取一
小瀬(棄権勝)太一	土三 2-1 波崎
磯原(棄権勝)笠間	館一(棄権勝)萩工
水城 2-1 土工	水工 3-0 石商
石一 3-0 海一	常北(棄権勝)日工
鹿島 2-1 日商	江戸崎 2-1 水商
谷田部(棄権)総工	筑波 2-0 湊一
結一 3-0 茨キ	水農 2-1 取二
竜一 3-0 岩井	緑岡 3-0 高萩
真壁 3-0 土一	岩瀬 2-1 北茨
麻生 2-1 東洋	古三 2-1 水一
館工(棄権勝)勝工	霞浦(棄権勝)短附
玉工 2-1 茨キ	

2回戦

妻 一 2-1 科技	太 一 3-0 境
土 三 2-1 笠間	水城 2-0 館一
古 一 2-0 土工	常北 2-0 石一
江戸崎 3-0 鹿島	大 一 3-0 総工
鉢 一 3-0 筑波	結 一 2-1 水農
緑岡 2-0 竜一	多賀 2-0 真壁
土日 3-0 岩瀬	古三 2-0 麻生
館工 2-1 霞高	日 一 2-1 玉工

3回戦

太 一 3-0 妻 一	土 三 2-0 水城
古 一 2-0 常北	大 一 2-0 江戸崎
鉢 一 2-0 結一	多賀 2-0 緑岡
土日 2-0 古三	館工 2-0 日一

4回戦

太 一 2-0 土三	大 一 2-1 古一
鉢 一 3-0 多賀	土日 2-0 館工

5回戦

大 一 2-1 太一	鉢 一 2-1 土日
------------	------------

6回戦

鉢 一 2-0 大 一

[女子の部]

1回戦

潮 来 3-0 古三	水商 3-0 八郷
日商 3-0 古一	館二 3-0 土女
水二 3-0 茨キ	常北 3-0 東洋
取二 2-1 女商	鉢 一 2-1 江戸崎
岩瀬 2-1 磯原	筑波 3-0 小瀬
大宮 3-0 谷田部	石二 2-0 真壁
波崎 2-1 湊二	鹿島 3-0 多賀
海二 3-0 水三	境 3-0 石商
笠間 3-0 土一	大成 3-0 土三
古二 3-0 大二	日女 3-0 妻一
岩井 2-1 北茨	

2回戦

土二 3-0 潮来	水商 3-0 日商
館二 2-1 水二	高萩 2-1 常北
取二 3-0 麻生	水農 2-1 妻二
鉢 一 2-1 岩瀬	館一 2-1 大宮
結二 3-0 筑波	石二 2-1 波崎
太二 2-1 海二	竜二 3-0 鹿島
日二 3-0 笠間	境 2-1 古二
大成 3-0 岩井	鉢二 3-0 日女

3回戦

土二 2-1 水商	高萩 2-1 館二
取二 2-1 水農	鉢 一 2-1 館一
石二 2-0 結二	竜二 2-1 太二
日二 2-1 境	鉢二 2-0 大成

準々決勝

土二 2-1 高萩	鉢 一 2-0 取二
石二 2-1 竜二	鉢二 2-0 日二

準決勝

土二 2-0 鉢 一	鉢二 2-0 石二
------------	-----------

決勝

鉢二 2-0 土二

[戦評] 男子、鉢田一、女子、鉢田二が優

勝し県東勢に独占された。朝のうち雨模様のせいか、棄権校が多く、男子9校、女子8校を数えた。試合があるから参加するだけでゲームに真剣味のない学校もあるようだ。会場も二つに分散し、日程も2日に亘るなど、運営も容易でないので来年あたりからは地区予選を行なってはどうかという意見も出ている。

県高校軟式庭球新人選手権大会

昭和45年11月7～8日

男子水戸市営コート、緑岡高コート

女子 水戸県営コート、茨大コート

〔男子の部〕

5回戦

稲垣	(古一)	4-0	倉小	持林	(海一)
豊鈴	(土日)	4-3	中清	部水	(大子一)
石清	(日一)	4-2	高吉	島田	(結一)
堀佐々	(太一)	4-1	土山	子田	(銚一)
橋村	(多賀)	4-2	根椎	本名	(日工)
鈴荒	(日工)	4-3	大鴨	志田	(水短付)
大宮	(江戸崎)	4-1	山山	野田	(取二)
池大	(妻一)	4-3	中須	根賀	(玉工)
鈴松	(霞高)	4-2	広瀬	関	(館一)
鬼小	(水城)	4-3	関仲	村	(太一)
清伊	(日一)	4-1	宇白	佐美	井(北茨)
関附	(土三)	4-1	張石	替井	(境)
上阿	(館工)	4-3	小持	沼丸	(銚一)
宇都	(古三)	4-3	大高	貫梶	(水一)
根黒	(太一)	4-3	皆石	川島	(土日)
山	(銚一)	4-1	佐々	藤木	(日工)

六回戦

石清	(日一)	4-3	豊鈴	田木	(土日)
橋村	(多賀)	4-3	堀佐々	口木	(太一)
大宮	(江戸崎)	4-0	鈴荒	木木	(日工)
鈴松	(霞高)	4-1	池大	田塚	(妻一)
稲船	(古一)	4-0	鬼小	沢針	(水城)
清伊	(日一)	4-2	関附	山田	(土三)
上阿	(館工)	4-2	宇都	木谷	(古三)
山	(銚一)	4-2	根黒	本沢	(太一)

準々決勝

石清	(日一)	4-1	橋村	本田	(多賀)
鈴松	(霞高)	4-2	大宮	野本	(江戸崎)
清伊	(日一)	4-2	稲船	垣橋	(古一)
山	(銚一)	4-1	上阿	野部	(館工)

準決勝

石清	(日一)	4-1	鈴松	木本	(霞高)
山	(銚一)	4-2	清伊	水藤	(日一)

決勝

石清	(日一)	4-2	山	口	(銚一)
----	------	-----	---	---	------

〔女子の部〕

五回戦

杉柳	(銚二)	4-0	伊伯	東着	(波崎)
稲長	(結二)	4-2	高岡	田野	(鹿島)
吉齊	(石二)	4-2	山福	崎田	(妻二)
浅技	(日二)	4-3	岡塚	田本	(土二)
真藤	(土二)	4-1	上真	田家	(石二)
佐黒	(女商)	4-1	山杉	山口	(銚二)

鈴木	木田	(石二)	4-3	益皆	子川	(日二)
田宮	中崎	(館二)	4-0	柴芝	田	(鉾一)
荒渡	木辺	(結二)	4-2	檜村	村山	(高萩)
根白	本土	(日二)	4-2	池松	田山	(鉾一)
鈴木	木木	(磯原)	4-3	吉新	岡井	(結二)
板岡	倉本	(土二)	4-3	岡寺	野尾	(大成)
松村	小松崎	(石二)	4-2	大片	竹岡	(奄二)
芝崎	塙	(鉾二)	4-2	松稲	本葉	(結二)
藤長	田峰	(奄二)	4-2	舟慶	橋野	(古三)
千大	田越	(日二)	4-3	石飯	塚島	(海二)

六回戦

杉柳	本沢	(鉾二)	4-1	稲長	葉尾	(結二)
吉齊	井藤	(石二)	4-3	浅枝	田川	(日二)
真藤	藤倉	(土二)	4-1	佐黒	藤沢	(女商)
鈴木	木田	(石二)	4-0	田宮	中崎	(館二)
荒渡	木辺	(結二)	4-3	根白	本土	(日二)
鈴木	木木	(磯原)	4-1	板岡	倉本	(土二)
松村	小松崎	(石二)	4-2	芝塙	崎	(鉾二)
千大	田越	(日二)	4-0	藤長	田峰	(奄二)

準々決勝

杉柳	本沢	(鉾二)	4-0	吉齊	井藤	(石二)
真藤	藤倉	(土二)	4-3	鈴木	木田	(石二)
鈴木	木木	(磯原)	4-0	荒渡	木辺	(結二)
千大	田越	(日二)	4-2	松村	小松崎	(石二)

準決勝

杉柳	本沢	(鉾二)	4-3	真藤	藤倉	(土二)
----	----	------	-----	----	----	------

鈴木 (磯原) 4-0 千大 田越 (日二)

決勝

杉本 (鉾二) 4-1 鈴木 (磯原)

[戦評] 男子 304組、女子 382組の参加を得て開催。前夜雨のため開始が少々遅れたが無事終了できた。参加数が多いため、茨大コートを借用した。新人とは言え審判の出来ない選手、試合順番が来ても出場しない選手等マナーやルール面で指導の行き届かない学校も若干見受けた。男子は1年生の石川・清水(日一)が札・山口(鉾一)を破って優勝。女子は杉本・柳沢(鉾二)が鈴木・鈴木(磯原)を4-1と押えて楽勝。順当なところ。石二が8本に3組進出して伸張ぶりが分る。

昭和45年度(第21回)

関東高校軟式庭球選手権大会

1. 期日 6月6日、7日
2. 会場 山梨県営コート(甲府市)
3. 戦績

△男子個人戦

- 1回戦 渡辺・伊藤(日一)  
初沢・中山(妻一)  
円羽・根本(日一)  
鈴木・石井(大子)  
熊坂・直井(日一)  
深本・浜中(妻一)  
深谷・斎藤(日大)
- 2回戦 松ヶ崎・大曾根(磯原)  
宇賀神・引田(日一)  
大高・片野(大子)  
大久保・石島(館工)  
中郡・清水(大子)  
岩瀬・中島(妻一)  
窪木・鶴田(太一)

3回戦 浅羽・酒井(多賀)

高畑・竹中(土三)

4回戦 大高・大沢(水一)

皆川・畠山(日工)

高橋・百日鬼(館一)

5回戦 直井・船橋(古一)

準々決勝 野沢・広沢(妻一)

△女子個人戦

1回戦 岩瀬・岡本(土二)、

富岡・桜井(土二)、

板倉・藤倉(土二)、

矢口・横田(土二)

2回戦 河野・芝崎(銚二)

栗山・土屋(土一女)

箱岩・大林(館二)

倉井・瑞野(竜二)

竹内・小野(日二)

石崎・塙(銚二)

高井・沼崎(竜二)

鈴木・横田(石二)

岩瀬・塚本(土二) 〇

小口・近川(結二)

3回戦 渡辺・住谷(日商)

4回戦 石崎・佐藤(銚二)

杉本・柳沢(銚二)

千田・大越(日二)

準々決勝 真藤・神林(土二) 〇

△男子団体戦

1回戦 下妻一 3 - 0 桐生工(群馬)

日立一 1 - 2 日川高(山梨)

2回戦 下妻一 1 - 2 小田原(神奈川)

△女子団体戦

1回戦 土浦二 3 - 0 和洋高(千葉)

銚田二 2 - 1 一宮高(千葉)

2回戦 土浦二 0 - 2 松山女(埼玉)

銚田二 2 - 0 宇女高(栃木)

準決勝 銚田二 2 - 1 富士見丘(東京)

決勝 銚田二 2 - 1 松山女(埼玉)

昭和45年度全国高校総体

全日本高校軟式庭球選手権

期日 8月2日~4日(男子)

8月5日~7日(女子)

会場 三重県伊勢市営コート

戦績 △男子個人戦

1回戦 松ヶ崎・大曾根(磯原)

宇賀神・引田(日一)

中郡・清水(大子)

2回戦 札・山口(銚一)

3回戦 大高・大沢(水一)

4回戦 皆川・畠山(日工)

野口・箕輪(水農)

直井・船橋(古一) 〇

△女子個人戦

1回戦 荒木・渡辺(結二)

2回戦 真藤・神林(土二) 〇

田中・宮崎(館二)

矢口・横田(土二) 〇

小口・近川(結二)

石崎・佐藤(銚二)

3回戦 岩瀬・岡本(土二) 〇

5回戦 杉本・柳沢(銚二) 〇

△男子団体戦

1回戦 日立一 2 - 1 木本(三重)

2回戦 日立一 0 - 3 今治工(愛媛)

△女子団体戦

2回戦 結城二 2 - 1 北見(北海道)

3回戦 結城二 1 - 2 博多商(福岡)

第6回県高校軟式庭球インドア選手権（関東高校インドア予選会）

11月21日 県立スポーツセンター

決勝リーグ

男 子	古一	銚一	日一	館工	順位
稲垣・船橋（古一）		④	④	④	1
札・山口（銚一）	1		2	1	4
清水・伊藤（日一）	0	④		0	3
上野・阿部（館工）	0	④	④		2

女 子	日二	土二	石二	土二	順位
千田・大越（日二）		④	④	④	1
板倉・岡本（土二）	3		④	3	2
松村・小松崎（石二）	2	2		④	4
真藤・藤倉（土二）	3	④	3		3

◎男女共3位までが46年1月6日東京体育館で開催される関東高校インドア大会に出場する。

○関東高校インドア茨城県選手団

総監督 飯島 隆（土浦二）

男子監督 秋山和衛（日立一）

選手 稲垣・船橋組（古河一）

上野・阿部組（下館一）

清水・伊藤組（日立一）

女子監督 佐藤嘉寿男（土浦二）

選手 千田・大越組（日立二）

板倉・岡本組（土浦二）

真藤・藤倉組（土浦二）